



九州大学工学部建築学科 卒業設計展

「わたしの視点、あなたの視点」

—あなたなら この建築をどう見る?—

ある物事を捉える際、ひとつの視点だけでは見えてこないことがある。今回の卒業設計展では、最終的に完成した模型や図面に加えて、1年を通しての思考の変化や、全員の作品を俯瞰しての分析など、いくつかの異なる視点から卒業設計を振り返る。視点を変えることで、卒業設計の背景や意図、これまで気づけなかった本質や発見が生まれるのではないだろうか。

2025. 3/18|火| — 5/25|日| [入場無料]

○会場：九州大学伊都キャンパス フジギャラリー

○開館時間：10:00-17:00

○休館日：土・日・祝日（ただし、5/17 - 5/25 は全日開館）

最新の開館状況や交通アクセスについて、詳しくはフジギャラリーのウェブサイトをご覧ください。

主催：九州大学工学部建築学科 後援：松遙会（建築学科同窓会）

Instagram: @kyudai.sotsuten
E-Mail: kyudai.sotsuten@gmail.com



「わたしの視点」

菌糸、簡易モビリティ、火山灰、木材乾燥、陶器水浄化、記憶の空間化、過密都市改修、風など、各自がテーマを持ち独自の視点で建築や都市、社会について考え卒業設計を行った。わたしの視点をあなたならどのように見る？



「カリキュラムの流れの中の視点」

卒業設計までに、さまざまな設計課題で力をつけてきた。その設計課題をプレゼンボードや模型写真、スケッチなどから振り返る。何を学び吸収しているのか、どのような意図があり設計課題が行われているのか、どのように成長してきたのか。



「集合体としての視点」

卒業設計は、一人ひとりの視点で考え、形づくられる。そんな卒業設計を俯瞰してみた時、何が見えてくるだろうか。各自の卒業設計における4月からの敷地の変遷を地図にまとめた。敷地がテーマかその両方か、それぞれ何を軸に卒業設計を進めてきたのか。



「1年間の変遷をたどる視点」

それぞれが4月からの「設計の変遷」をまとめた。あの作品はどのようにして形作られたのか。1年間を通じて、どのように考え、何が案を変え最終的に空間が生まれてきたのか。最終成果物だけでは感じ取れない、思考の変化はどのようにになっているのか。



「裏側からの視点」

卒業設計の成果物の裏側には最後の追い込みや制作の工夫が詰まっている。提出間際の製図室の風景やその中で役立った道具、作業環境を支えたグッズもまた、卒業設計を構成する一部なのではないだろうか。



「未来への視点」

卒業設計では、各自の視点で社会について考えてきた。卒業設計で終わりにするのではなく、これから何をしていくのかが重要なのではないかと。これから進学・就職など道は異なる。それぞれが未来に向けた決意を表明する。



「司書さんからの視点」

場所：中央図書館エントランススペース
期間：4/12-5/18 図書館の開館時間
卒業設計のテーマに関連する本はどのようなものがあるのか？司書さんに選んでいただいた本と共に展示を行う。
* 展示作品は6日程度で入れ替えます。

九州大学工学部建築学科 卒業設計展

卒業設計とは

卒業設計とは、これまで学部教育の中で培ってきた思考や知識や技術など全てを導入して、全力で自分の考えを自由に表現する一生に一度の機会である。
単なる建築設計にとどまらず、人間・社会、都市・環境といった多様な観点から、鋭い問題提起や創造的な提案を行う。



@KYUDAI.SOTSUTEN

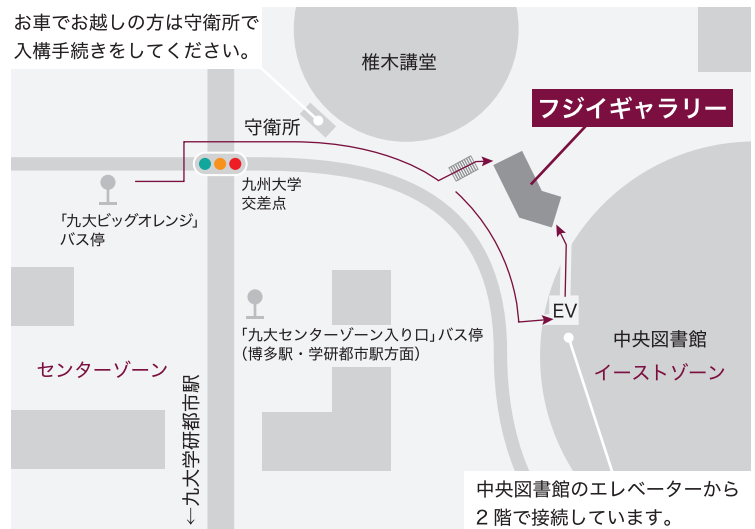


九州大学工学部
建築学科卒業設計展



@kyudai_sotsuten

お車でお越しの方は守衛所で入構手続きをしてください。



中央図書館のエレベーターから2階で接続しています。